

楠原だより

二学期終了

長かった二学期も終わりを迎えました。子どもたちが登校する日だけでも七十八日間ありました。二学期の始業式では、東京パラリンピックの卓球競技で出場していたエジプトの選手(幼少の頃事故で両腕を失い、口でラケットをくわえてプレーするハマドトウ選手です)の言葉やヘレン・ケラーの言葉などを紹介し、「あきらめずに、一人ひとりでできることをどんどん増やしてほしい」ということを話しました。子どもたちそれぞれがこの二学期にがんばったこと、できるようになったことが、通知表の中にもたくさん書かれてありました。終業式の講話ではそのことを一部紹介しました。例えば「かけ算九九をたくさん練習し、すらすら暗唱することができた。」「体育のマット運動では、友達の回り方を観察することでコツをつかみ、できるようになった。」など、他にもたくさんありました。「やればできる」ということを実感し、ぜひ三学期もできることを増やして行ってほしいと思います。今年の冬休みは、曜日の関係で、いつもより少し長い休みとなりますが、二学期の振り返り・一年間の振り返りをしっかり行い、新しい年の目標を立ててほしいと思います。

めざす児童像
思いやりのある子
楽しく学ぶ子
たくましい子

交流活動

十一月から十二月にかけて、低・中・高学年それぞれに地域の方々の交流活動を行いました。ご紹介します。

低学年



低学年は、めんこやおはじき、お手玉、あやとり、コマなどの昔遊びを通しての交流でした。地域の方々から教えていただきましたながら、一生懸命取り組んでいました。楽しい交流ができたようでした。ありがとうございます。

中学年



自己紹介の最中です

玉入れゲーム



風船バレー



紙飛行機飛ばし

中学年は、一緒に歌を歌ったり、地域の方々との混合チームで、風船バレーや紙飛行機飛ばしなどのゲームをして交流を深めました。参加してくださった皆様ありがとうございました。

高学年は餅つき・餅丸め体験で、交流活動を実施しました。



ゲストティーチャーの方に、つき方の手本を見せていただき、教えていただいたとおりやっていきます。

地域の大先輩に教えていただきながら、餅を丸めています。



最後は、ジェスチャークイズをしたり、一緒に「ふるさと」を歌ったりしました。



ご指導・ご支援いただきました皆様、本当にありがとうございました。



令和三年、二〇二一年も残すところ、一週間となりました。これまでお世話になりました、すべての皆様に心から感謝申し上げます。ありがとうございます。暖冬といつていい日が続きましたが、これから急激に気温が下がります。本格的な冬になりそうです。どうかよいお年をお迎え下さい。